

人流ビッグデータの活用で地域に見える化を実現！

KLAにより、EBPM（エビデンスに基づく政策立案）を強力に支援

KDDI Location Analyzer

ICN いみずケーブルネットワーク
IMIZU CABLE NETWORK

1. 事業概要

・令和5年 8月より事業開始

 射水市

エビデンスに基づく政策立案

人流分析サービス業務

提出

依頼

分析レポート作成

ビッグデータ提供

パートナー契約

ICN いみずケーブルネットワーク
IMIZU CABLE NETWORK

KDDI Location Analyzer

23 案件 + 1 案件 (令和6年能登半島地震)

 観光・イベント系 8

- ・内川イベント2つの人流分析
- ・花火大会の人流分析
- ・海鮮まつりの人流分析
- ・曳山まつりの人流分析
- ・道の駅周辺の人流分析
- ・海老江海浜公園の人流分析
- ・かわべ開放Weekの人流分析
- ・海王丸パークの人流分析

 都市計画系 8

- ・放生津小学校周辺の人流分析
- ・主要ごみ収集所の人流分析
- ・内川周辺の長期人流分析
- ・市内宿泊施設の人流分析
- ・富山県立大の通学状況調査
- ・市内4エリアの人流分析
- ・川の駅の人流分析
- ・市内全域の人流分析

 文化・施設系 6

- ・旧北陸道アート人流分析
- ・匠の里 人流分析
- ・市内施設等の人流分析
- ・市内商店街の人流分析
- ・市内文化施設のリピート率
- ・市内体育館の人流分析

 医療・福祉系 2

- ・5エリアの高齢者活動調査
- ・福短イベントの人流分析

 防災・減災系 1

- ・地震における人流調査

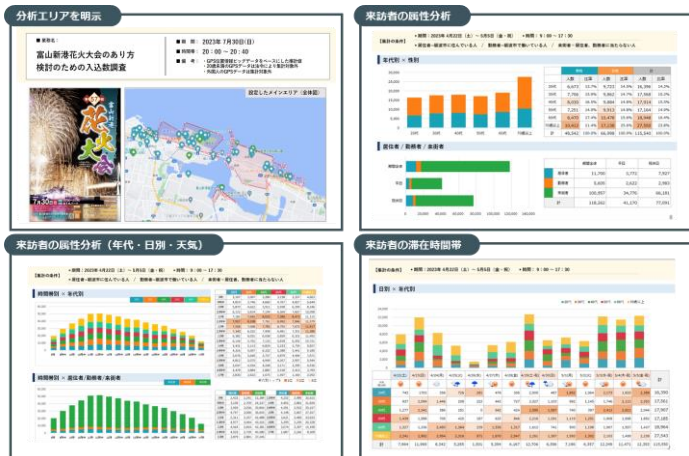
地域ビッグデータで新たなケーブルテレビの事業を創出！

2. 効果

- **地域の賑わいが見える**
- **地域の経済が見える**
- **接触機会増、行政の悩みがわかる**
- **政策及び事業計画立案の強力なエビデンス**
- **継続したビジネスに発展**
(行政との年間契約)

3. 今後の展開

- 地域のビッグデータはケーブル局の事業領域
- **地元企業、団体への横展開**
(既に実施済み)
- **同一県内ケーブル局のビジネス創出**
(既に実施済み)
- **行政からのスポット分析依頼増加**
(地域から頼られる存在へ)
- **防災減災への貢献**



分析レポートイメージ

位置情報で避難行動分析

射水市、スマホデータ活用

射水市は新年度、能登半島地震発生時の市民の避難行動をスマートフォンでの位置情報をもとに分析する。余震や津波に避難した手段や避難先を把握し、分析結果をもとに防災計画に反映する。15日発表した新年度当初予算に500万円を計上した。

スマートフォンでの位置情報分析は、KDDIのシステムを使い、性別、年代、1時間ごとの行動が分かる。防災時の動きや避難先把握・分析する。アンケート調査は「地震対策が最優先」として、

3月補正予算に盛り込んだ地震対策費4億1千万円と合わせた計10億7千万円を事業に充てる。市民の復旧に当初予算5億5千万円を、被災者支援には見直しとして10万、5万、2万円を支給するほか、生活応援金として10万円単身5万円、家族用として5万円を再受給できるようにし、被災者の復旧に活用する。また、射水市は新年度当初予算に500万円を計上し、全県で住宅を再取得する場合に500万円を借り付け補助する。

【2024年2月16日 富山新聞朝刊】



分析を元に、能登半島地震 特番を制作